

JARC 大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

# キャリアのミカタ

2025.Jun Vol.46



2025年新卒世代の特徴

入社の決め手とキャリア観

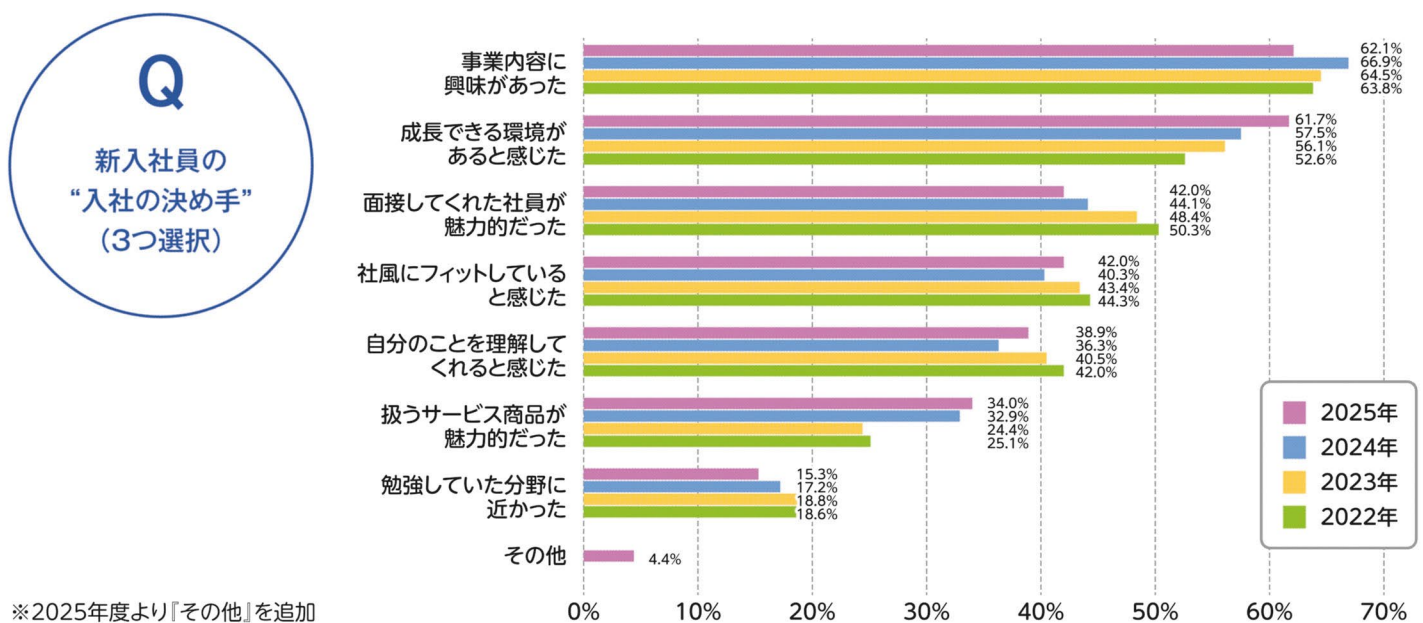
# 2025年新卒世代の特徴【入社の決め手とキャリア観】

株式会社ジェイックでは、学生の支援だけでなく、企業向けの教育事業を展開しております。今回は、2025年の新卒入社約900名の受講者に対して行ったアンケートの結果から見てきた特徴についてお伝えします。

## 新入社員の入社の決め手 1位「事業内容に興味があった」(62.1%)、2位「成長できる環境がある」(61.7%)

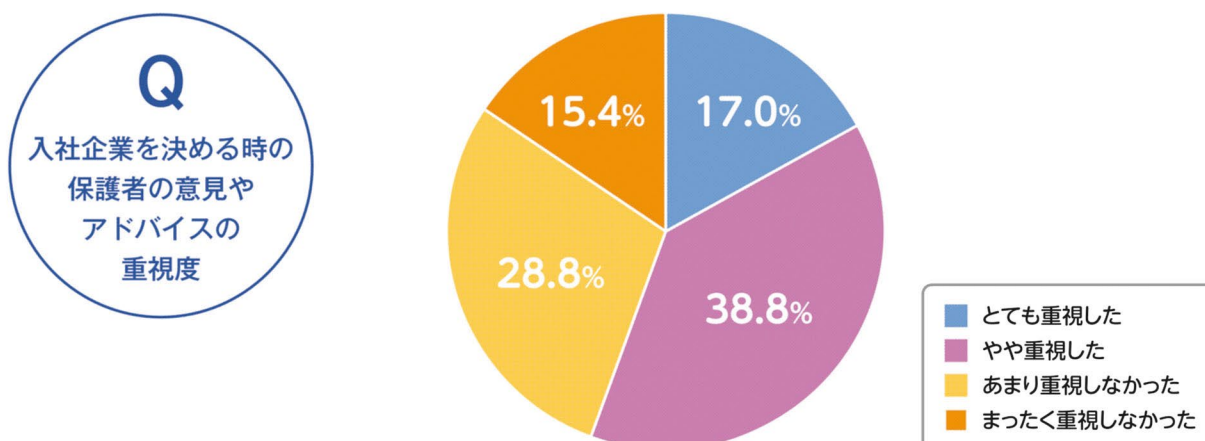
「入社の決め手を3つ選択してください」と質問したところ、「事業内容に興味があった」が62.1%、「成長できる環境があると感じた」が61.7%、「面接してくれた社員が魅力的だった」が42.0%、「社風にフィットしていると感じた」が42.0%、「自分のことを理解してくれると感じた」が38.9%、「扱うサービス商品が魅力的だった」が34.0%、「勉強していた分野に近かった」が15.3%、「その他」が4.4%となりました。

本調査は今回で4年目の実施となり、例年上位に挙がる項目に大きな変動は見られませんが「成長できる環境があると感じた」の割合は調査を開始した2022年から年々上昇し、今回の調査で初めて回答率が6割を超える結果となりました。



## 入社企業を決める時の、保護者の意見やアドバイスの重視度 過半数が「重視した」と回答

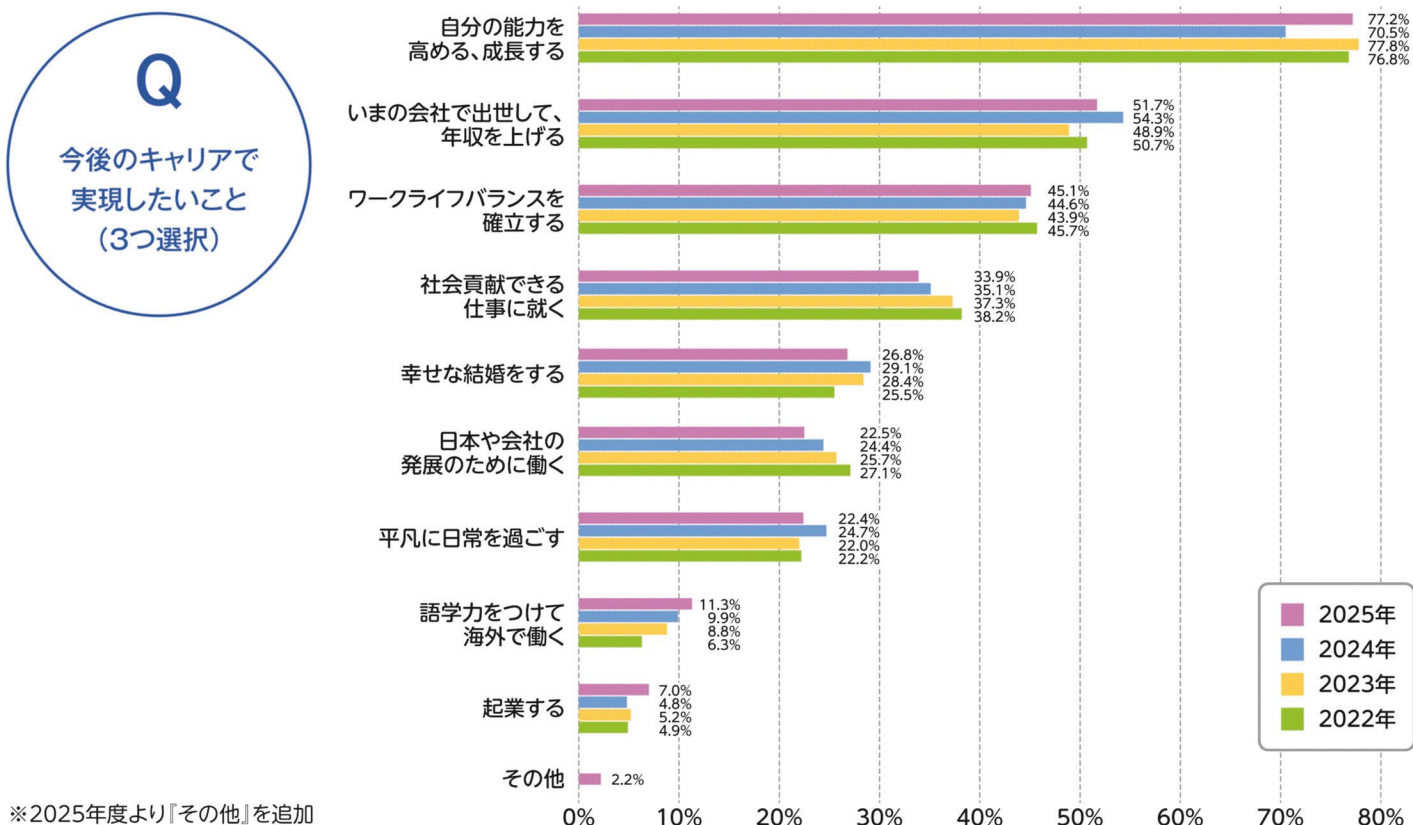
「入社企業を決める時に、保護者の意見やアドバイスをどの程度重視しましたか?」と質問したところ、「とても重視した」が17.0%、「やや重視した」が38.8%、「あまり重視しなかった」が28.8%、「まったく重視しなかった」が15.4%となりました。「とても重視した」「やや重視した」を合わせると、過半数の新入社員が、入社企業を決める際に保護者の意見やアドバイスを参考にしたことがわかりました。



## 今後のキャリアで実現したいこと 1位「自分の能力を高める、成長する」(77.2%)

「今後のキャリアで実現したいことを3つ選択してください」と質問したところ、「自分の能力を高める、成長する」が77.2%、「いまの会社で出世して、年収を上げる」が51.7%、「ワークライフバランスを確立する」が45.1%、「社会貢献できる仕事に就く」が33.9%、「幸せな結婚をする」が26.8%、「日本や会社の発展のために働く」が22.5%、「平凡に日常を過ごす」が22.4%、「語学力をつけて海外で働く」が11.3%、「起業する」が7.0%、「その他」が2.2%となりました。

例年、上位に挙がる項目に大きな変動は見られず、本年も7割以上の方が「自分の能力を高める、成長する」を重視していることがわかりました。



## いまの会社でどこまで昇進したいか 1位「部長」(32.7%)、2位「取締役・役員」(21.2%)

「いまの会社でどこまで昇進したいですか、1つ選択してください」と質問したところ、「部長」が32.7%、「取締役・役員」が21.2%、「昇進したいとは思わない」が18.4%、「課長」が17.2%、「経営者」が10.5%となりました。

「部長」が最も多く、次いで「取締役・役員」という順位に大きな変動は見られませんでした。また、「経営者」を目指す割合は年々増加し、今年は初めて10%を超えました。さらに課長から経営者まで、ポジションの違いはあれど、何かしらの役職に就きたいと望む人が全体の8割を超える結果となりました。



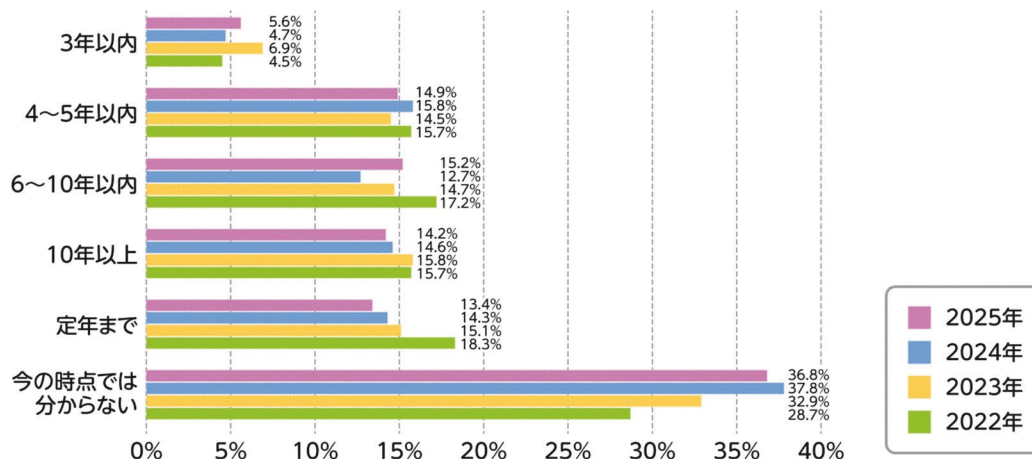
## いまの会社であと何年ぐらい働くと思うか

1位「今の時点では分からない」(36.8%)

「いまの会社であと何年ぐらい働くと思うか、今時点であなたの考え方に近いものを1つ選択してください」と質問したところ、「今の時点では分からない」が36.8%、「6～10年以内」が15.2%、「4～5年以内」が14.9%、「10年以上」が14.2%、「定年まで」が13.4%、「3年以内」が5.6%となりました。「定年まで」と「10年以上」の回答は減少傾向にあり、昨今の転職などによるキャリア形成への意欲の高まりも背景にあると考えられます。

Q

いまの会社で  
あと何年ぐらい  
働くと思うか



調査からは、新入社員が「入社を決め手」として「成長できる環境があると感じた」を重視する傾向が年々高まり6割を超え、今後のキャリアでも「能力を高める、成長する」を7割以上が実現したいこととして挙げています。これは、学生がキャリア形成やスキルアップの機会を強く求めていることの表れです。8割以上が何らかの役職への昇進に意欲がある一方で、「今の会社であと何年働くか」について「分からない」が最多で「定年まで」が減少傾向にあり、転職も視野に入れた柔軟なキャリア観が見られます。また、入社企業の決定において、保護者の意見やアドバイスを過半数の新入社員が重視している点も見逃せません。これは、学生本人だけでなく、その保護者の安心感や納得感も重要な要素であることを示唆しており、大学のキャリアセンターが保護者向けの説明会や情報提供を検討することも、学生の意思決定を側面から支援する有効な手段となり得るでしょう。

これらの調査結果から、学生の成長意欲や昇進意欲といった前向きな意識を捉えつつ、変化に対応できる柔軟性や、周囲のサポートも考慮した多角的な視点でのキャリア支援の重要性が改めて浮き彫りとなりました。この傾向を踏まえたうえでのどのようにキャリア支援をしていくのか? 下記および別紙にてWEBセミナーを開催いたします。今後の学生のキャリア支援を考えるうえでのご参考になれば幸いです。ご興味がありましたら下記QRコード、または、別紙のご案内をご確認ください。

2025年6月25日(水)  
15～16時 WEBセミナー

25卒900名の“ホンネ”から読み解く

## 26卒が求める「納得就職」とは?

本セミナーでは、25卒新入社員900名を対象に実施した「就活に関するホンネアンケート」の結果をさらに深掘りします。変化する学生の価値観やキャリア観を紐解きながら、26卒が目指す“納得感のある就職”とは何かを考察していきます。さらに、学生理解のためにジェイックが既に取り組んでいる施策や、各大学から伺った成功事例もご紹介します。データに基づいた確かな知見とヒントを、ぜひお持ち帰りください!



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート

<https://forms.gle/DKss2TSRnTEAkVAdA>

